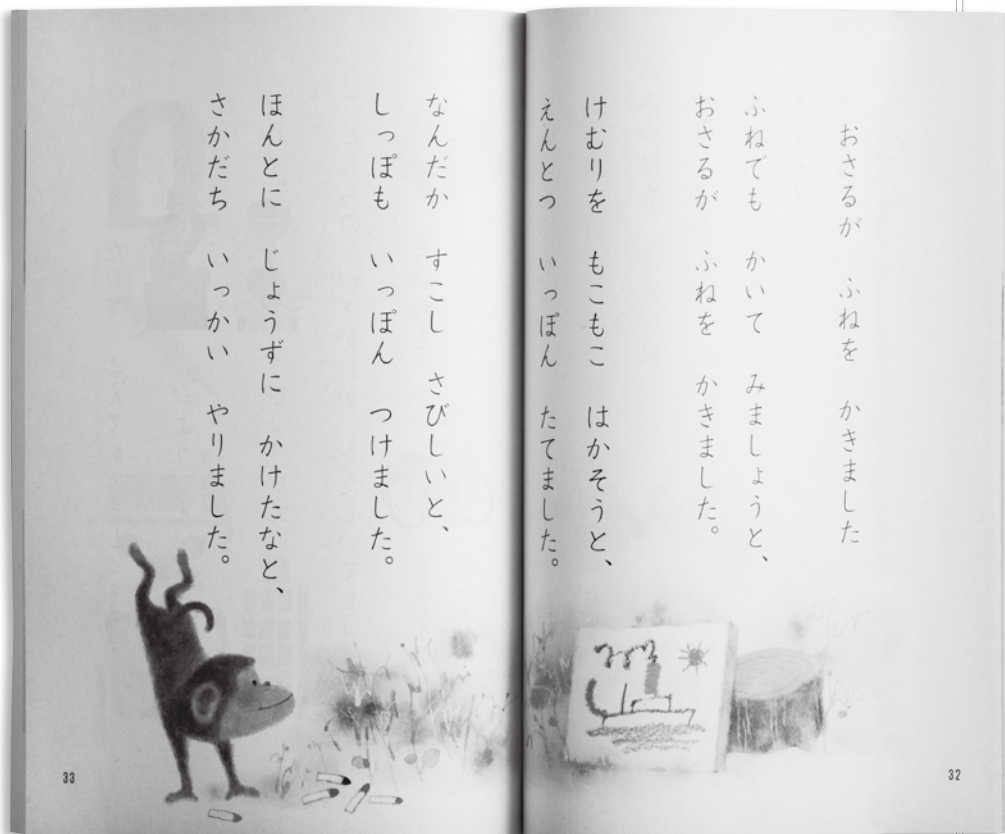


まどさんと教科書

小学校『国語』教科書にも、まど・みちおさんの作品が数多く掲載されてきました。現在使われている教科書はもちろん、今の大人が子どもだった頃の教科書にも、まどさんの作品がありました。

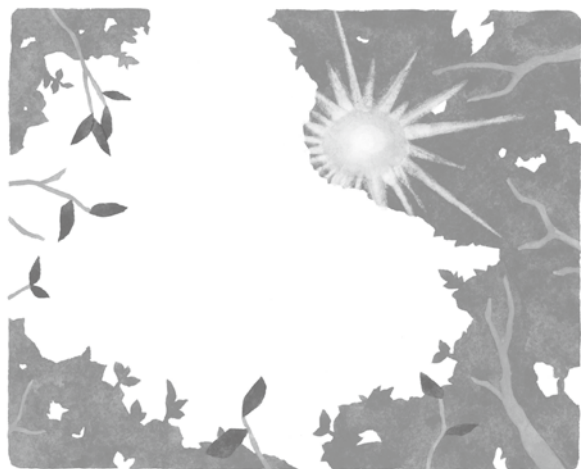
■教科書に掲載されたまど・みちおさんの作品

- ・「犬があるく」(二年下) 昭和46年～51年
- ・「ああ、どこから」(三年上) 昭和46年～51年
- ・「おさるが ふねを かきました」(一年上) 昭和52年～60年／平成23年～26年(四年下) 昭和58年～60年
- ・「ケムシ」「いびき」「ヒョウタン」「えんとつ」
- ・「きりかぶの赤ちゃん」(一年下) 平成4年～11年
- ・「くまさん」(二年上) 平成4年～16年
- ・「朝が来ると」(三年上) 平成4年～7年
- ・「ともだち」(二年上) 平成14年～22年
- ・「アサガオ」(四年上) 平成14年～16年
- ・「キリン」(三年上) 平成17年～22年
- ・「はしる しるしる」(三年下) 平成23年～現在
- ・「せんねん まんねん」(六年) 平成23年～現在



▲「おさるが ふねを かきました」(1年上)は、昭和52年から60年まで掲載され、平成23年に再登場した。上の表紙は、昭和52年度版の教科書。

小学校『国語』教科書に、「かざぐるま」「ともだち」「たんぽぽ」などの名前が付いたのは、昭和五十五年からです。五十八年からは、教科書の名前にちなんだ扉の詩が登場するようになりました。一年から三年までの扉の詩は、まどさんの作品です。



国語 三下 あおぞら
空がまぶしい、
このわたしの上に。
あそこの牛の上に。
あの山の上で生きている
一本松の上に。
みんなおんなじに
青く青くすんで……

◀『国語』3年下「あおぞら」

扉の詩に寄せて

まど・みちお

私たちはずいぶん空を汚しています。まだ、まだ青空を失ってはいません。ただその青空を仰ぎ見ることは忘れがちになっています。

青空は今でも、その永遠を思わせるような青さで、そして宇宙の意志を思わせるようなまぶしさで、はるばると拡がっていています。この地球上のどんな生き物の頭上にも平等に、塵ほどにも分け隔てなく。

たぶんそれは、言い聞かせつづけていくのでしょう。「お前たちはみんな兄弟なのだよ。」と。それに気付くもしないで、他の生き物たちへの横暴はむろんのこと、自分たち同士でさえ憎み合い争い合いつづけているこの私たち人間へも。かぎりない辛抱強さとやさしさで。

(学習指導書三下より)